

説経節 | 三代目 若松若太夫
里神楽 | 梅鉢会
企画・原作 | 上田 薫

『お岩本様一代記』

——イタコの伝える『山椒太夫』の物語から——



2025年 **11月22日** (土)
【開場】12:30 【開演】13:00

板橋区立文化会館小ホール

〒173-0014 東京都板橋区大山東町 51-1

入場無料／全席自由

- 観覧をご希望の方は、事前に下掲 QR コードの申し込みフォームよりお申し込みください。
- 満席になり次第、締め切らせていただきます。

2025年 **9月1日** (月) 申し込み受付開始

主催：日本大学芸術学部
共催：公益財団法人板橋区文化・国際交流財団

本事業は、日本学術振興会科学研究費助成事業・課題番号 23K00201 により実施いたします。



▲申し込み、お問い合わせはこちらから！



『お岩本様一代記』 あらすじ

『お岩木様一代記』は津輕平野を見下ろす秀峰岩木山に祀られた神の由縁を説く縁起物語の一つです。説経節『山椒太夫』をもとに、岩木山に伝わる安寿姫の物語をあわせて創作されたものと考えられます。東北地方のイタコなどがオシラ祭文として語っていたもので、昭和に入ってから記録されたイタコの語った祭文が残っています。語りは一人称形式になっており、仏下ろし（口寄せ）をするイタコらしく、かつて安寿であった自分の話として物語られます。父親による子供の遺棄、母親の流離、山椒太夫による過酷な責苦など、説経節らしい悲惨な展開の物語ですが、そうした逆境に屈しない安寿の生命力がこの物語の特徴であり、さらにその結末には観客の予想もしない展開が待っています。

説経節

三代目 若松若太夫



一九八九年、先代若松若太夫の公演を聴き、感銘を受け入門。一九八八年に三代目若松若太夫を襲名。二〇〇〇年、東京都指定無形文化財（芸能）保持者、板橋区登録無形文化財説経浄瑠璃保持者に認定される。二〇〇二年、韓国の「第二回全州世界ソリ祝祭」に出演。二〇〇四年より「若松若太夫独演会」を板橋区郷土芸能伝承館で開催。また同年には、初代若松若太夫Sプレコード復刻CDを自主制作する。二〇〇七年、埼玉県文化ともしび賞を受賞。二〇一二年、第一回東京「無形文化」祭「語る」一節の競演に出演。第五六回関東ブロック民俗芸能大会（二〇一四年）では車人形西川古柳座と共演し、埼玉県内の竹間沢車人形、白久串人形の地語りとしても活躍している。

梅鉢会

白石信人氏が立ち上げた神楽社中、会員は約三〇名。

『好きこそものの上手なれ』を心にお稽古に精進しております。会員募集中。

白石信人

昭和五十一年五月三十日生。幼少の頃より川越の祭囃子を習い二十歳頃より神楽太夫に師事、その後二人の太夫にも師事、十五年前に里神楽梅鉢会を立ち上げる。神社での神楽奉奏以外に、さいたま芸術劇場主催「埼玉回遊」主演、テレビや各メディアにも出演。

里神楽 梅鉢会



説経節と里神楽の共演 お岩本様一代記



- 東武東上線「大山」駅北口より徒歩3分
 - 都営三田線「板橋区役所前」駅A3出口より徒歩7分
- ※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

日時 2025年11月22日(土) 【開場】12:30 【開演】13:00

会場 板橋区立文化会館小ホール 

〒173-0014 東京都板橋区大山東町 51-1

料金 入場無料／全席自由

※満席になり次第、締め切らせていただきます。

申し込み方法 Web 申し込み

2025年9月1日(月) 申し込み受付開始

申し込みサイト <https://etokioguri.wixsite.com/website>

氏名(2名以上でご来場の方は同伴者名も)、メールアドレスを入力の上、送信してください。お申し込み後、受付完了メール(自動送信)を送信します。自動送信メールが届かない場合、もしくは内容に不備がある場合は、お手数ですが担当者まで別途メール(etoki.oguri@gmail.com)でお問い合わせください。



〈お問い合わせ〉

日本大学芸術学部文芸学科上田薫ゼミ 説経節係
etoki.oguri@gmail.com

主催：日本大学芸術学部

共催：公益財団法人板橋区文化・国際交流財団

本事業は、日本芸術振興会科学研究費助成事業・課題番号 23K00201 により実施いたします。